

令和4年度教職課程
自己点検評価報告書

福岡県立大学

令和5年3月

目次

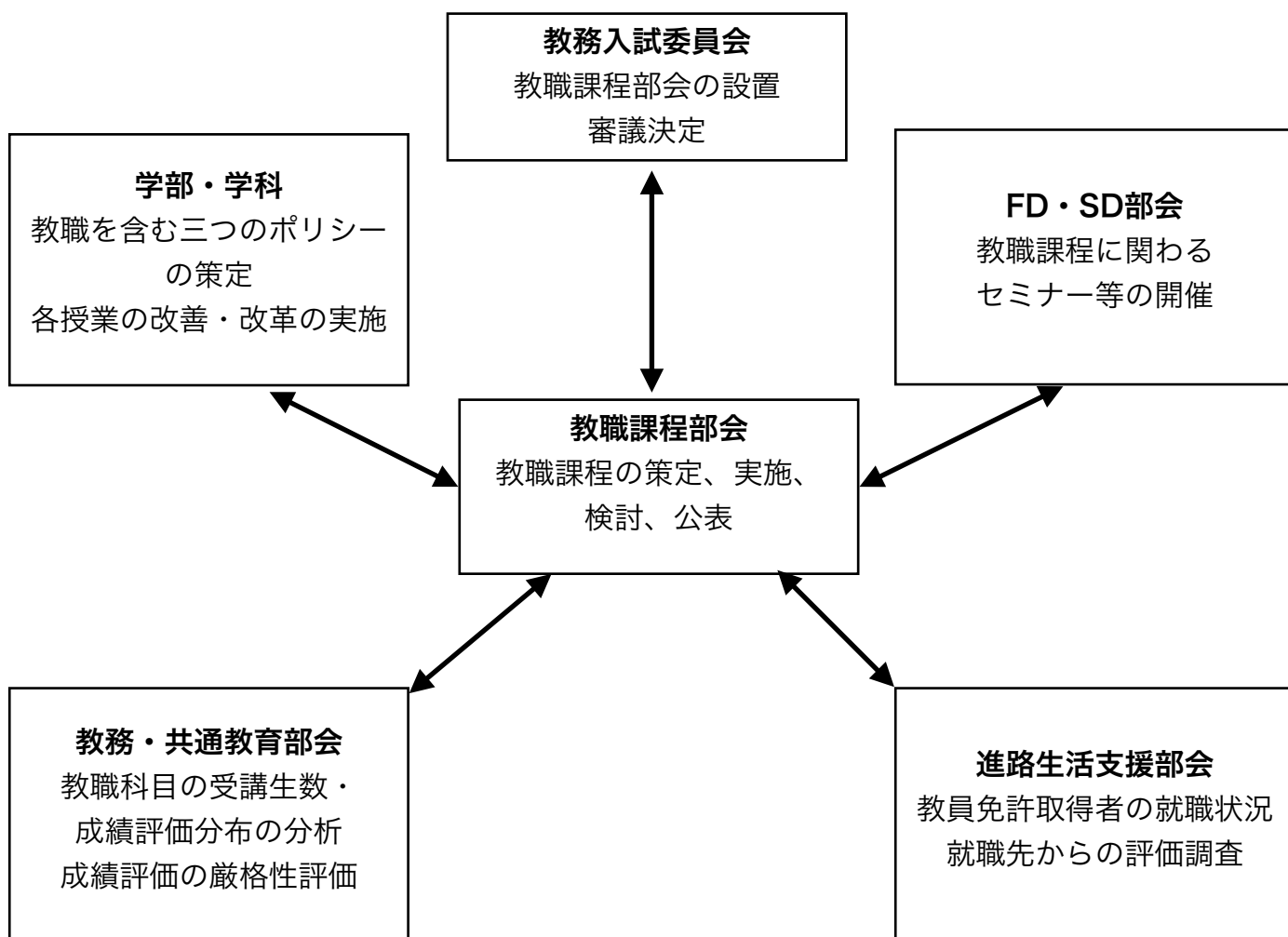
1	本学の教職課程と教育体制	
1)	教職課程に関する全学的組織体制	1
2)	公立大学法人福岡県立大学教職課程部会規則	2
3)	令和4年度教職課程部会員	4
4)	本学で取得できる教員免許及び関連授業一覧	4
2	各教職免許の教育実施状況	
1)	幼稚園教諭一種	2 1
2)	養護教諭一種	2 4
3)	中学校教諭一種（社会）、高等学校教諭一種（公民・情報）	2 6
3	総括	3 6

1.教職課程に関する全学的組織体制

本学には公立大学法人福岡県立大学教務入試委員会規則第6条に基づいて教職課程部会が設置されている。部会は公立大学法人福岡県立大学教職課程部会規定に基づき、教職課程の編成、カリキュラムの検証及び改善、教職課程認定内容及び授業改善方策の検討、授業実施計画や実習学生派遣計画の策定、教職養成に関する情報の公表等を行なっている。部会員は教職課程にかかる担当教員として教職専門教員、各教科専門教員、教職課程を置く学科の担当教員を学部長が推薦し理事長が決定した教員9名、事務局学務部職員1名及び理事長が任命した部会長が選任されている。

教職課程部会は、教職課程を置く学科と連携し、学科カリキュラムの検証、改善を行なっている。検討にあたっては教務・共通教育部会による各授業についての成績評価の厳格性についてのアンケート結果の分析や成績評価分布に関する分析の通知、進路生活支援部会による就職状況や就職先アンケートを客観的指標として使用している。また授業改善についてはFD・SD部会による各種セミナーも活用している。

教職課程の活動及び審議事項については教務入試委員会にて報告、審議を経て最終決定を行なっている。



○公立大学法人福岡県立大学教職課程部会規則

法人規則第140号

平成26年4月1日

(設置)

第1条 公立大学法人福岡県立大学教務入試委員会規則第6条の規定に基づき、教務入試委員会の附属部会として教職課程部会（以下「部会」という。）を置く。

(所管事項)

第2条 部会は、以下の事項を扱う。

- (1) 教職課程の編成に関する事
- (2) カリキュラムの検証及び改善に関する事
- (3) 教職課程認定内容の検討に関する事
- (4) 授業改善方策の検討に関する事
- (5) 授業実施計画の策定に関する事
- (6) 実習学生派遣計画の策定に関する事
- (7) 教職課程の自己点検・評価に関する事
- (8) 教員養成に関する情報の公表に関する事
- (9) その他教職課程に関する事項で、部会が必要と認める事

(組織)

第3条 部会は、次に掲げる者をもって組織する。

(1) 教職課程に関わる以下の各教員

- ①教職専門教員
- ②各免許の教科専門教員
- ③各免許が設置された学科の担当教員

(2) 事務局学務部職員

- 2 前項第1号に定める部会員は理事長が学部長・研究科長の推薦により決定する。
- 3 部会員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じたときの補充部会員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

第4条 部会に部会長を置く。

- 2 部会長は、理事長が任命する。
- 3 部会長は、部会を招集し、その議長となる。
- 4 部会長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 5 部会長に支障があるときは、あらかじめ部会長が指名する部会員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 部会は、部会員の2分の1以上の出席をもって成立する。

- 2 部会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところに

よる。

- 3 部会は、必要と認めるときは部会員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。
- 4 部会の活動について適宜教務入試委員会に報告するものとする。

(改廃)

第6条 この規則の改廃は、教務入試委員会の議を経て、理事長が行う。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成28年11月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和元年12月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和3年5月18日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和5年3月24日から施行する。

3. 令和4年度教職課程部会員

- ・ 部会長 上野 行良
- ・ 教職専門教員 藤澤 健一
- ・ 幼稚園教科専門教員 董 秋艶
- ・ 養護教科専門教員 原田 直樹
- ・ 公民教科専門教員 美谷 薫、佐藤 繁美
- ・ 中学社会教科専門教員 美谷 薫、佐藤 繁美
- ・ 情報教科専門教員 柴田 雅博
- ・ 人間形成学科担当教員 伊勢 慎
- ・ 公共社会学科担当教員 坂無 淳
- ・ 看護学科担当教員 梶原 由紀子
- ・ 学務部職員 緒方 健介

4. 本学で取得できる教員免許及び関連授業一覧

本学で取得できる教員免許は以下のとおり。関連授業については次ページ以降に掲載。

- ・ 幼稚園教諭一種
- ・ 養護教諭一種
- ・ 中学校教諭一種（社会）
- ・ 高等学校教諭一種（公民）
- ・ 高等学校教諭一種（情報）

領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園教諭一種免許状）

施行規則の定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法								
科目区分	各科目に含めることが必要な事項と最低修得単位数	科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法		
					1年次	2年次	3年次	4年次			
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	16単位	幼児と健康	1	演習			1		必修
		人間関係		幼児と人間関係	1	演習			1		必修
		環境		幼児と環境	1	演習		1			必修
		言葉		幼児と言葉	1	演習		1			必修
		表現		幼児と表現A	1	演習		1			必修
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	幼児と表現B		1	演習			1		必修	
		保育内容総論		2	☆演習		2			必修	
		保育内容の指導法・健康		1	演習			1		必修	
		保育内容の指導法・人間関係		1	演習			1		必修	
		保育内容の指導法・環境		1	演習		1			必修	
		保育内容の指導法・言葉		1	演習		1			必修	
		保育内容の指導法・表現A		1	演習		1			必修	
		保育内容の指導法・表現B		1	演習			1		必修	
		保育内容演習		2	☆演習				2	必修	

備 考

1. 上記の科目は、すべて人間形成学科の専門教育科目です。

大学が独自に設定する科目（幼稚園教諭一種免許状）

科目区分	本学での開設授業科目と履修方法							履修方法等
	科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				
				1年次	2年次	3年次	4年次	
大学が独自に設定する科目	造形Ⅰ	1	演習	1				必修
	音楽Ⅰ	2	演習	2				必修
	体育Ⅰ	1	演習		1			必修
	生涯教育論	2	講義		2			必修
	保育学	2	講義		2			必修
	造形Ⅱ	1	演習	1				4単位 選択必修
	音楽Ⅱ	1	演習		1			
	音楽Ⅲ	1	演習		1			
	体育Ⅱ	1	演習			1		
	社会教育特講C (ボランティア論)	2	講義			2		

備 考

1. 上表の科目は、すべて人間形成学科の専門教育科目です。

幼稚園教諭一種免許状（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）

免許法施行規則の定める科目と最低修得単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	憲法	2	講義	2				必修
体育	2	健康科学実習Ⅰ	1	☆実習	1				必修
		健康科学実習Ⅱ	1	☆実習	1				必修
外国語 コミュニケーション	2	英語Ⅰ－(1)	1	演習	1				必修
		英語Ⅰ－(2)	1	演習	1				必修
数理、データ活用 及び人工知能に関する 科目又は情報機器の 操作	2	情報処理の基礎と演習	2	☆演習	2				必修

備 考

1. 上表の科目は、すべて人間社会学部の基盤教育科目（教養科目、基礎科目）です。
2. 「☆実習」「☆演習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業です。

養護に関する科目（養護教諭一種免許状）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法
						1年次	2年次	3年次	4年次	
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	公衆衛生学	2	講義	2				必修
			疫学	2	講義		2			必修
			保健統計学	2	講義		2			必修
			保健社会学	1	講義	1				必修
	学校保健	2	学校保健学	1	講義			1		必修
			小児看護学	2	講義		2			必修
			暮らしと保健福祉・看護	2	講義	2				必修
	養護概説	2	養護概説	2	講義		2			必修
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2	健康教育論	2	講義			2		必修
	栄養学（食品学を含む。）	2	栄養学	2	講義	2				必修
	解剖学・生理学	2	生態機能看護学Ⅰ	2	講義	2				必修
			生態機能看護学Ⅱ	2	講義	2				必修
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	感染・免疫看護学演習	1	演習	1				必修
			看護薬理学	2	講義		2			必修
	精神保健	2	精神保健学	2	講義		2			必修
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10	基礎看護学概論	2	講義	2				必修
			基礎看護技術論	2	演習	2				必修
			シンプトンマネジメント論	1	演習		1			必修
			フィジカルアセスメント論	2	演習		2			必修
			看護過程	1	演習		1			必修
看護研究			2	講義		2			必修	
家族看護学			1	講義		1			必修	
精神看護学			2	講義		2			必修	
精神看護学演習			2	演習			2		必修	
人間のライフステージと看護			1	講義	1				必修	
成人老年看護学Ⅰ（急性期）			2	講義		2			必修	
成人老年看護学Ⅱ（回復期・慢性期）			2	講義		2			必修	
小児看護学演習			2	演習			2		必修	
小児看護学実習			2	実習			2		必修	
合計	28		51		17	25	9		必修 51	

教育の基礎的理解に関する科目等（養護教諭一種免許状）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法							
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法
						1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育学概論B	2	講義	2				必修
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教師論	1	講義			1		必修
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育と社会・地域	1	講義	1				必修
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学I-A	2	講義	2				必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別の支援を必要とする子供の理解	1	講義		1			必修
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程編成論	2	講義		2			必修
及び道徳、生徒、総合的な学習の時間、道徳的、な学習の時間等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育A	1	講義		1			必修
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		特別活動・総合的な学習の時間	1	講義		1			必修
	・生徒指導の理論及び方法		教育方法論	1	講義		1			必修
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		生徒指導論A	2	講義				2	必修
			教育相談	2	講義			2		必修
教育実践に関する科目	養護実習	5	養護実習 事前事後指導	1	実習				1	必修
	学校体験活動		養護実習	4	実習				4	必修
	教職実践演習	2	教職実践演習 (養護教諭)	2	演習				2	必修
合計		21		23		5	6	3	9	23

教育職員免許法施行規則 66 条の 6 に定める科目
 (養護教諭一種免許状、養護教諭二種免許状)

免許法施行規則の定める科目と最低修得単位数		本学での開設授業科目							
		科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	憲法	2	講義	2				必修
体育	2	健康科学	2	講義		2			必修
外国語コミュニケーション	2	オーラルコミュニケーションⅠ	1	演習	1				必修
		ライティングⅠ	1	演習	1				必修
		オーラルコミュニケーションⅡ	1	演習	1				必修
		ライティング	1	演習	1				必修
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理演習Ⅰ	1	演習	1				必修
		情報処理演習Ⅱ	1	演習	1				必修
合計	8		10		8	2			10

教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校教諭一種免許状〈公民〉）

施行規則に定める科目区分等		本学での開設授業科目と履修方法								
科目区分	各科目に定めることが必要な事項及び最低修得単位数	科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法	
					1年次	2年次	3年次	4年次		
教科及び教科の指導法に関する科目	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む）」	法学	2	講義	2				必修	
		政治学	2	講義	2				必修	
		国際政治学	2	講義	2					
		地方自治論	2	講義		2				
		社会学概論	2	講義	2				必修	
		社会学史Ⅰ	2	講義		2				
		国際社会学A	2	講義		2				
		現代社会論A（ジェンダー・世代）	2	講義		2				
		家族社会学A	2	講義		2				
		社会病理学	2	講義		2				
		社会調査実習Ⅰ	2	実習		2				
		社会調査実習Ⅱ	2	実習		2				
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	24単位	地域社会学	2	講義	2				
		但し、最低修得単位数を超えて履修した科目は、大学が独自に設定する科目に充てることができる。	コミュニティ論	2	講義		2			
			都市社会学	2	講義		2			
			NPO論	2	講義			2		
			多文化社会論	2	講義		2			
			アジア経済論	2	講義			2		
			社会福祉学概論Ⅰ	2	講義	2				
			経済学	2	講義	2				必修
			哲学要論	2	講義			2		必修
			倫理学	2	講義			2		
			宗教学	2	講義		2			
		社会心理学	2	講義	2					
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	地域社会分析法A	2	講義			2				
	地域社会分析法C	2	講義			2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国際協力論	2	講義	2						
	公民科教育法Ⅰ	2	講義			2		必修		
	公民科教育法Ⅱ	2	講義			2		必修		

備考

1. 上表の「公民科教育法Ⅰ」、「公民科教育法Ⅱ」以外の科目は、基盤教育科目及び公共社会学科の専門教育科目です。
2. 「履修方法」欄の「必修」は免許状取得の上での必修科目であることを示します。

教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校教諭一種免許状〈情報〉）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法							
科目区分	各科目に定めることが必要な事項及び最低修得単位数	科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法	
					1年次	2年次	3年次	4年次		
教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会・情報倫理	個人情報法制	2	講義			2		必修	
		現代社会論B（情報社会論）	2	講義		2				
		現代社会論C（情報社会と法）	2	講義		2				
		情報科学	2	講義	2				必修	
		情報処理応用演習	1	演習	1					
		情報数学	2	講義		2				
		社会統計学Ⅰ	2	講義		2			必修	
		社会統計学Ⅱ	2	講義		2			必修	
		社会調査法	2	講義	2				必修	
		社会調査の設計	2	講義		2				
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	24単位	データ分析の基礎	2	講義	2				必修
		プログラミング概論	2	講義		2			必修	
		プログラミング演習	1	演習			1			
		データ処理とデータ解析Ⅰ	1	演習			1		必修	
		データ処理とデータ解析Ⅱ	1	演習			1		必修	
		データベース論	2	講義		2			必修	
		情報検索システム論	2	講義			2			
		地理情報システム論	2	講義			2			
		情報ネットワーク論	2	講義		2			必修	
		情報ネットワーク演習	1	演習		1				
情報システム（実習を含む。）		マルチメディア論	2	講義		2		必修		
情報通信ネットワーク（実習を含む。）		Webデザイン演習	1	演習		1				
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）		情報と職業	2	講義			2	必修		
情報と職業		-----								
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		情報科教育法Ⅰ	2	講義			2		必修	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		情報科教育法Ⅱ	2	講義			2		必修	

備考

1. 上表の「情報と職業」、「情報科教育法Ⅰ」、「情報科教育法Ⅱ」以外の科目は、基盤教育科目、全学横断型科目及び公共社会学科の専門教育科目です。
2. 「履修方法」欄の「必修」は免許状取得の上での必修科目であることを示します。

教科及び教科の指導法に関する科目（中学校教諭一種免許状〈社会〉）

施行規則に定める科目区分等		本学での開設授業科目と履修方法							
科目区分	各科目に定めることが必要な事項及び最低修得単位数	科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
教科及び教科に関する専門的事項に関する科目	日本史・外国史	日本史概論	2	講義		2			必修
		日本近現代史	2	講義	2				
		西洋史概論	2	講義		2			必修
		東アジア関係史	2	講義		2			必修
	地理学（地誌を含む。）	地理学	2	講義	2				
		地理学概論	2	講義		2			必修
	「法律学、政治学」	世界地理	2	講義	2				必修
		法学	2	講義	2				必修
		政治学	2	講義	2				必修
	「社会学、経済学」	国際政治学	2	講義	2				
		地方自治論	2	講義		2			
		社会学概論	2	講義	2				必修
		社会学史Ⅰ	2	講義		2			
		国際社会学A	2	講義		2			
		現代社会学A（ジェンダー・世代）	2	講義		2			
		家族社会学A	2	講義		2			
		社会病理学	2	講義		2			
		社会調査実習Ⅰ	2	実習		2			
		社会調査実習Ⅱ	2	実習		2			
		地域社会学	2	講義	2				
		コミュニティ論	2	講義		2			
		都市社会学	2	講義		2			
		NPO論	2	講義			2		
		多文化社会学論	2	講義		2			
		アジア経済論	2	講義			2		
		社会福祉学概論Ⅰ	2	講義	2				
	「哲学、倫理学、宗教学」	経済学	2	講義	2				必修
		哲学要論	2	講義			2		必修
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	倫理学	2	講義			2		
		宗教学	2	講義		2			
地域社会分析法A		2	講義			2			
地域社会分析法C		2	講義			2			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国際協力論	2	講義	2					
	公民科教育法Ⅰ	2	講義			2		必修	
	公民科教育法Ⅱ	2	講義			2		必修	
	社会科教育法Ⅰ	2	講義			2		必修	
		社会科教育法Ⅱ	2	講義			2	必修	

備考

1. 上表の「公民科教育法Ⅰ」、「公民科教育法Ⅱ」、「社会科教育法Ⅰ」、「社会科教育法Ⅱ」以外の科目は、基盤教育科目及び公共社会学科の専門教育科目です。
2. 「履修方法」欄の「必修」は免許状取得の上での必修科目であることを示します。

教育の基礎的理解に関する科目等（高等学校教諭一種免許状〈公民、情報〉）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法							
科目	各科目に定めることが必要な事項	単位数	科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
						1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論B	2	講義	2				必修
	教育史		2	講義		2				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		2	講義	2					必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		2	講義			2			必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2	講義	2					1科目 選択必修
	教育心理学概論		2	講義		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		1	講義		1				必修
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	講義			2			必修		
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間の指導法	1	講義		1			必修
	特別活動の指導法		1	講義		1			必修	
	教育の方法及び技術		1	講義			1		必修	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		1	講義			1		必修	
	生徒指導の理論及び方法		2	講義			2		必修	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2	講義			2		必修	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		2	講義			2		必修	
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習 事前事後指導（中高）	1	☆実習			1		必修（公民） 必修（情報）
			高校教育実習	2	実習				2	必修（公民） 必修（情報）
	学校体験活動	2	実習		2			必修		
	教職実践演習	2	教職実践演習（中高）	2	☆演習				2	必修

備考

- この表の科目は、高等学校一種免許状（公民、情報）の取得のために特に履修する科目です。
- 「教育史」「発達心理学Ⅰ-A」および「教育心理学概論」は人間形成学科の開設科目です。履修に当たっては注意してください。
- 「履修方法」欄の必修等の指定は、免許状取得の上での指定です。
- 「☆演習」「☆実習」は毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業です。

教育の基礎的理解に関する科目等（中学校教諭一種免許状〈社会〉）

施行規則に定める科目区分等			本学での開設授業科目と履修方法							
科目	各科目に定めることが必要な事項	単位数	科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
						1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論B	2	講義	2				必修
	教育史		2	講義		2				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論	2	講義	2				必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学	2	講義			2		必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学 I-A	2	講義	2				1科目 選択必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育心理学概論	2	講義		2			
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		特別の支援を必要とする子供の理解	1	講義		1			必修
	教育課程論	2	講義			2		必修		
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育B	2	講義			2		必修
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1	講義		1			必修
	特別活動の指導法		特別活動	1	講義		1			必修
	教育の方法及び技術		教育の方法と実践	1	講義			1		必修
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法と情報技術	1	講義			1		必修
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論B	2	講義			2		必修
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	講義			2		必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		キャリア論（進路指導）	2	講義			2		必修
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習 事前事後指導（中高）	1	☆実習			1		必修（社会）
	中学校教育実習		4	実習				4	必修（社会）	
	学校体験活動	学校インターンシップ	2	実習		2			必修	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中高）	2	☆演習			2		必修

備考

1. この表の科目は、中学校一種免許状（社会）の取得のために特に履修する科目です。
2. 「教育史」「発達心理学 I-A」および「教育心理学概論」は人間形成学科の開設科目です。履修に当たっては注意してください。
3. 「履修方法」欄の必修等の指定は、免許状取得の上での指定です。
4. 「☆演習」「☆実習」は毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業です。

大学が独自に設定する科目（高等学校教諭一種免許状〈公民〉）

免許法施行規則の定める科目 と 最低必要単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
大学が 独自に 設定す る科目	高一種免（公民） 12単位 但し、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて12単位以上を修得	生涯教育論	2	講義		2			
		社会教育論	2	講義		2			
		社会教育特講B	2	講義			2		
		社会教育特講C	2	講義			2		
		道徳教育B	2	講義			2		
		東アジア関係史	2	講義		2			
		地理学	2	講義	2				
		地理学概論	2	講義		2			
		現代社会論B （情報社会論）	2	講義		2			
		現代社会論C （情報社会と法）	2	講義		2			
		社会調査法	2	講義	2				
		データ分析の基礎	2	講義	2				
		データ処理とデータ解析I	1	演習			1		
		地理情報システム論	2	講義			2		
		不登校・ひきこもり援助論	2	講義	2				
子供学習支援論	1	講義	1						

備 考

1. 上表の科目は、公共社会学科の専門教育科目とそれ以外の科目とが含まれています。「社会教育特講B」「社会教育特講C」「道徳教育B」「不登校・ひきこもり援助論」「子供学習支援論」の5科目は、自由選択科目として単位に算入されます。

大学が独自に設定する科目（高等学校教諭一種免許状〈情報〉）

免許法施行規則の定める科目 と 最低必要単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
大学が 独自に 設定す る科目	高一種免（情報） 1 2 単位 但し、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて12単位以上を修得	道徳教育B	2	講義			2		
		統計学	2	講義	2				
		数学概論	2	講義	2				
		社会調査実習Ⅰ	2	実習		2			
		社会調査実習Ⅱ	2	実習		2			
		地域社会分析法C	2	講義			2		
		不登校・ひきこもり援助論	2	講義	2				
子供学習支援論	1	講義	1						

備 考

- 上表の科目は、公共社会学科の専門教育科目とそれ以外の科目とが含まれています。
「道徳教育B」「不登校・ひきこもり援助論」「子供学習支援論」の3科目は、自由選択科目として単位に算入されます。

大学が独自に設定する科目（中学校教諭一種免許状〈社会〉）

免許法施行規則の定める科目 と 最低必要単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期（標準履修年次）				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
大学が 独自に 設定す る科目	中一種免（社会） 4単位 但し、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて4単位以上を修得	生涯教育論	2	講義		2			
		社会教育論	2	講義		2			
		社会教育特講B	2	講義			2		
		社会教育特講C	2	講義			2		
		現代社会論B （情報社会論）	2	講義		2			
		現代社会論C （情報社会と法）	2	講義		2			
		社会調査法	2	講義	2				
		データ分析の基礎	2	講義	2				
		データ処理とデータ解析I	1	演習			1		
		地理情報システム論	2	講義			2		
		不登校・ひきこもり援助論	2	講義	2				
		子供学習支援論	1	講義	1				

備 考

- 上表の科目は、公共社会学科の専門教育科目とそれ以外の科目とが含まれています。「社会教育特講B」「社会教育特講C」「不登校・ひきこもり援助論」「子供学習支援論」の4科目は、自由選択科目として単位に算入されます。

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

(高等学校教諭一種免許状〈公民、情報〉及び中学校教諭一種免許状〈社会〉)

免許法施行規則の定める科目と最低修得単位数		本学での開設授業科目と履修方法							
		科目名	単位	方法	開設時期(標準履修年次)				履修方法
					1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	憲法	2	講義	2				必修
体育	2	健康科学実習Ⅰ	1	☆実習	1				必修(学科)
		健康科学実習Ⅱ	1	☆実習	1				必修(学科)
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ－(1)	1	演習	1				必修(学科)
		英語Ⅰ－(2)	1	演習	1				必修(学科)
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理の基礎と演習	2	☆演習	2				必修(学科)

備考

- 「本学での履修方法」欄の「必修」は、免許状取得の上での必修科目であることを示し、「必修(学科)」は公共社会学科専門教育科目の必修指定科目(卒業要件)であることを示します。
- 授業方法欄の「☆実習」「☆演習」は、毎週1回(90分)で半期、原則として15回の授業です。

2-1. 令和4年度自己点検評価報告書（幼稚園教諭一種免許状）

1. 免許希望状況

こどもコースを選択している、または希望している学生全員が幼稚園教諭一種免許状の取得を希望している。学年別の幼稚園教諭一種免許状希望状況は、以下の通りである。

- ・1年生 15名 希望者 15名
- ・2年生 13名 希望者 13名
- ・3年生 12名 希望者 12名
- ・4年生 21名 希望者 21名

2. 教育実習実施状況

幼稚園教育実習Ⅰ（10月）及び、幼稚園教育実習Ⅱ（2月）を別紙1、2の実施計画の通り実施した。

3. 教学アセスメント状況

「教育の基礎的理解に関する科目等（幼稚園教諭一種免許状）」の内、2科目において、シラバスとの相違、評価基準に関する自由記述があった。担当教員に、シラバスで示したとおりの授業内容、評価を担保することを依頼し、改善に向けて取り組んでいる。

4. 就職状況

2022年度卒業生21名の就職状況は、幼稚園2名であった。

また、幼稚園以外の就職状況は、保育所・施設17名（うち公立保育園7名）、一般企業2名であった。

5. 特記事項

幼稚園教育実習Ⅰにおいて一部コロナ禍のため、実習期間の変更があったが、問題なく実習を終えている。

2022年度 幼稚園実習 I 実施計画 実習期間: 10月17日(月)~10月28日(金)10日間 人間形成学科3年生 12名 12園

	実習先	〒	所在地		☎	備考
1	第二明泉寺幼稚園	804-0032	福岡県	北九州市戸畑区西大谷1丁目9番52号	093-871-7701	
2	桜ヶ丘中央幼稚園	891-0175	鹿児島県	鹿児島市桜ヶ丘4丁目8-2	099-265-2700	
3	浜町幼稚園	808-0023	福岡県	北九州市若松区北浜1丁目1-25	093-771-2230	
4	しんり幼稚園	802-0974	福岡県	北九州市小倉南区徳力5-10-10	093-962-3126	
5	志井幼稚園	802-0985	福岡県	北九州市小倉南区志井6丁目19-1	093-963-1007	
6	九州女子大学付属鞍手幼稚園	807-1313	福岡県	鞍手郡鞍手町新北1111	0949-42-0185	10月17日(月)~20日(木) 10月24日(月)~31日(月)
7	田川市立幼稚園	825-0002	福岡県	田川市大字伊田2744-2 たがわこどもセンター	0947-44-0906	公立
8	学校法人廣池学園麗澤幼稚園	277-8686	千葉県	柏市光ヶ丘2-1-1	04-7173-3526	
9	宗教法人教覚寺 夜須幼稚園	838-0214	福岡県	朝倉郡筑前町東小田1864番地	0946-42-5199	
10	学校法人正蓮寺学園認定こども園深信幼稚園	859-3237	長崎県	佐世保市城間町305-2	0956-59-2515	
11	清和幼稚園	800-0257	福岡県	北九州市小倉南区湯川3丁目3番30号	093-931-4540	
12	鴨池しらうめ幼稚園	890-0064	鹿児島県	鹿児島市鴨池新町3番1号	099-257-7445	

別紙 2

2022年度 幼稚園実習Ⅱ 実施計画 実習期間:2月16日(木)～ 3月2日(木)10日間 人間形成学科3年生 12名 10園

	実習先	〒	所在地		☎	備考
1	明泉寺幼稚園	804-0063	福岡県	北九州市戸畑区正津町1番9号	093-871-3267	
2	つばき幼稚園	891-0108	鹿児島県	鹿児島市中山1丁目6-1	099-269-4545	
3	若松天使園	808-0035	福岡県	北九州市若松区白山1-9-50	093-751-2487	
4	徳力団地幼稚園	802-0975	福岡県	北九州市小倉南区徳力団地1-2	093-962-2465	
5	しんり幼稚園	802-0974	福岡県	北九州市小倉南区徳力5丁目10-10	093-962-3126	
6	西徳寺幼稚園	822-0034	福岡県	直方市山部553-1	0949-22-4891	
7	田川カトリック幼稚園	826-0023	福岡県	田川市上本町9-6	0947-42-2514	
8	田川カトリック幼稚園	826-0023	福岡県	田川市上本町9-6	0947-42-2514	
9	城北幼稚園	838-0211	福岡県	朝倉郡筑前町下高場2223	0946-42-2238	
10	早岐幼稚園	859-3215	長崎県	佐世保市早岐2丁目29-17	0956-38-2207	
11	しんり幼稚園	802-0974	福岡県	北九州市小倉南区徳力5丁目10-10	093-962-3126	
12	太陽の子幼稚園	890-0064	鹿児島県	鹿児島市鴨池新町25-6	099-256-7288	

2-2. 令和4年度自己点検評価報告書 (養護教諭サブコース)

①資格希望者状況 (R4年度)

看護学部看護学科において、養護教諭サブコースを希望した学生は、1年生26名、2年生7名、3年生14名、4年生10名であった。

※R4年までは定員10名程度の選抜試験あり、R5年以降は自由選択制となっている。

②教育実習実施状況

2022年5月16日～6月10日の4週間の期間で、養護教諭サブコースの10名の学生が養護実習を実施した。

実習校は福岡県内の学校が6校、福岡県外の学校が4校であった。学校種は、小学校が4校、中学校が3校、高等学校が3校であった。

③教学アセスメント状況 教職課程 (養護教諭)

【R3授業実施評価レポートより】

看護学部看護学科の養護教諭サブコースの学生を対象とした成績分布について、養護に関する科目については、看護学部のDPレビューで示した通りであり特に問題ないと判断した。教育の基礎的理解に関する科目については、人間社会学部のDPレビューで対象とした項目を除いた8科目を対象とした。成績は、A評価が最も多く、次いでS評価、B評価C評価の順で、不可、未受験および無資格は合わせて若干数であった。8科目でみれば一定のバランスが取れていると判断した。一方、成績Sが2/3を超えた科目は2科目、成績Sが0名の科目は2科目あった。そのため、成績評価については、各担当教員に対してシラバス作成時に科目の特性や目的および到達目標を鑑み、評価方法について再確認し再整理や見直し依頼をする必要があると考えられた

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目(養護教諭一種免許状)については、両学部のDPレビューで示した通りであり、特に問題ないと判断した。

④就職状況

養護教諭サブコースの学生10名の就職状況は、養護教諭(教員採用試験合格者3名)8名、看護師2名である。

⑤特記事項

- ・令和5年度より看護学部の養護教諭サブコースは自由選択制となった。
- ・養護実習の実施時期は変更することなく当初の予定通り実施できた。
- ・すべての実習校において、実習担当教員が実習巡回に行くことができた。

令和4年度養護実習先一覧

2022年度 養護実習実習先一覧 実習期間:2022年5月16日(月)~2022年6月10日(金)20日間 看護学部学生10名 10校

	実習校	〒	住所		電話番号
1	九州国際大学付属高校	〒805-0002	福岡県	北九州市八幡東区枝光5丁目9-1	093-671-8443
2	田川市立田川鎮西小学校	〒825-0002	福岡県	田川市伊田1946-1	0947-44-0702
3	飯塚市立鯉田小学校	〒820-0001	福岡県	飯塚市鯉田1263	0948-22-3299
4	佐賀県立鳥栖高校	〒841-0038	佐賀県	鳥栖市古野町600-1	0942-83-2211
5	佐賀県立致遠館高等学校	〒849-0919	佐賀県	佐賀市兵庫北4丁目1-1号	0952-33-0401
6	熊本県宇城市立小川中学校	〒869-0605	熊本県	宇城市小川町南部田287-2	0964-43-0036
7	福岡市立千早小学校	〒813-0044	福岡県	福岡市東区千早3丁目13-1	092-681-0831
8	北九州市立守恒中学校	〒802-0837	福岡県	北九州市小倉南区葉山町3丁目3-1	093-961-6051
9	大阪府富田林市立久野喜台小学校	〒584-0074	大阪府	富田林市久野喜台1丁目16-1	0721-29-1450
10	飯塚市立穂波西中学校	〒820-0084	福岡県	飯塚市椿250-1	0948-22-1049

2-3. 令和4年度自己点検評価報告書（中高教職課程）

①中高教職課程 資格希望者状況

公共社会学科「中高教職課程」の教員免許取得希望は、表①-1の通りである。

高校情報免許は、2022年開設であるが、2021年度以前に入学した学生にも情報免許について周知し、情報免許科目の受講と情報免許の資格取得を推奨している。

表①-1 教員免許資格取得希望者一覧

	中学校教諭一種	高等学校教諭一種		教職課程 受講者数
	(社会)	(公民)	(情報)	
2019年度生	5(1)*	5(1)*		5(1)*
2020年度生	7(1)*	7		8(1)*
2021年度生	9	13(3)*	4	13(3)*
2022年度生	7(1)*	8(1)*	3	11(2)*

*表中の()内の数字は人間形成学科の学生数を示す。

②.1 中高教職課程 教育実習実施状況（教育実習・学校インターンシップ・介護等体験）

・教育実習

中高教職課程の教育実践に関する科目は、「教育実習事前事後指導（中高）」（必修1単位）、「中学校教育実習」（中免のみ必修2単位）、「高校教育実習」（必修2単位）、「学校インターンシップ」（必修2単位）、「教職実践演習（中高）」（必修2単位）で構成されている。

中高教職課程における、教育実習実施状況は②-1、②-2の通りである。教育実習希望者全員が予定通り教育実習を完了した。

②-1 教育実習実施状況一覧

区分		実施状況
実施者数		5(1)*
学校種	中学校	5(1)*
実習教科	教科	社会

*表中の()内の数字は人間形成学科の学生数を示す。

表②-2 教育実習実施期間

実習校	都道府県	人数	実習期間
木津川市立中学校	京都府	1	2022年5月23日 ～ 2022年6月10日
城陽市立中学校	京都府	1	2022年5月30日 ～ 2022年6月17日
田川市立中学校	福岡県	2(1)*	2022年6月6日 ～ 2022年6月24日
米子市立中学校	鳥取県	1	2022年9月13日 ～ 2022年10月5日

*表中の()内の数字は人間形成学科の学生数を示す。

教育実習先の確保については、中学校・高等学校の学校種に関わらず、学生が希望する実習校とその学校を所管する教育委員会の手続きに従い実習先を確保している。

加えて、中学校で教育実習を希望する場合、田川市教育委員会と本学で「教育実習受入承諾書」を取り交わしており、同教育委員会が所管する中学校を教育実習先として確保している。

高校教育実習の場合、高校公民は福岡県立東鷹高等学校、高校情報は福岡県嘉穂総合高等学校（3名以内）と本学で「教育実習受入承諾書」を交わし実習先の確保に努めている。

・学校インターンシップ

本学中高教職課程のカリキュラムの特徴は、4年次の教育実習までに、3年次に学校体験活動「学校インターンシップ」（必修2単位）を履修することを通して、早期に学校現場の諸活動を体験する実践的な教員養成を行っている点にある。

学校インターンシップの実施状況は、表②-3～表②-5の通り。学校体験活動「学校インターンシップ」は、田川市教育委員会との連携により、学校の指示の下に滞りなく実施した。

学校インターンシップの時間数は、事前事後指導を含め66時間から90時間を確保しており、時間数の基準を満たし実施されている。

学校インターンシップの派遣先の確保については、田川市教育委員会と本学で交わした「学校体験活動受入承諾書」に基づき派遣先を確保している。さらに、福岡市教育委員会と本学は「学生サポーター制度」に関する協定を締結し、学校インターンシップの派遣先を確保している。

表②-3 学校体験活動「学校インターンシップ」一覧

学校名	都道府県	人数	派遣期間
田川市立A中学校	福岡県	4	2022年9月12日 ～ 2022年12月7日
			2022年9月12日 ～ 2022年12月9日
			2022年9月12日 ～ 2022年12月21日
			2022年9月12日 ～ 2022年12月26日
田川市立B中学校	福岡県	4(1)*	2022年9月14日 ～ 2022年12月7日
			2022年9月14日 ～ 2022年12月7日
			2022年9月14日 ～ 2022年12月7日
			2022年9月14日 ～ 2022年12月21日

*表中の()内の数字は人間形成学科の学生数を示す。

表②-4 学校インターンシップ実施状況

田川市立 A 中学校													
回	日付	開始 ~ 終了	時間	日付	開始 ~ 終了	時間	日付	開始 ~ 終了	時間	日付	開始 ~ 終了	時間	
第1回	9/12	8:15 ~ 11:40	3:25	9/12	8:15 ~ 12:00	3:45	9/12	8:00 ~ 12:00	4:00	9/12	8:00 ~ 12:00	4:00	
第2回	9/20	8:15 ~ 12:40	4:25	9/22	8:00 ~ 12:00	4:00	9/26	8:00 ~ 13:00	5:00	9/20	8:00 ~ 12:40	4:40	
第3回	9/26	8:15 ~ 12:40	4:25	9/29	8:15 ~ 12:00	3:45	9/27	8:00 ~ 13:00	5:00	9/28	8:00 ~ 12:40	4:40	
第4回	10/5	8:15 ~ 12:40	4:25	10/7	8:00 ~ 12:00	4:00	10/5	8:00 ~ 13:00	5:00	10/5	8:00 ~ 12:40	4:40	
第5回	10/12	8:15 ~ 11:40	3:25	10/14	8:15 ~ 12:00	3:45	10/12	8:00 ~ 12:00	4:00	10/12	8:00 ~ 12:00	4:00	
第6回	10/19	8:00 ~ 12:15	4:15	10/21	8:00 ~ 12:00	4:00	10/19	8:00 ~ 12:30	4:30	10/19	8:00 ~ 12:00	4:00	
第7回	10/26	8:15 ~ 12:40	4:25	10/28	8:00 ~ 12:00	4:00	10/26	8:00 ~ 13:00	5:00	10/26	8:00 ~ 12:40	4:40	
第8回	11/2	8:15 ~ 11:40	3:25	11/11	8:00 ~ 12:00	4:00	11/2	8:00 ~ 13:00	5:00	11/2	8:00 ~ 12:40	4:40	
第9回	11/11	8:15 ~ 11:40	3:25	11/11	14:00 ~ 17:00	3:00	11/11	8:00 ~ 12:00	4:00	11/9	8:00 ~ 12:40	4:40	
第10回	11/18	8:15 ~ 11:40	3:25	11/18	8:00 ~ 13:00	5:00	11/30	8:00 ~ 12:00	4:00	11/25	8:00 ~ 11:40	3:40	
第11回	11/25	8:15 ~ 11:40	3:25	11/25	8:00 ~ 12:00	4:00	12/2	8:00 ~ 12:00	4:00	11/30	8:00 ~ 11:40	3:40	
第12回	11/30	8:15 ~ 12:40	4:25	12/2	8:00 ~ 12:00	4:00	12/9	8:00 ~ 12:00	4:00	12/7	8:00 ~ 12:40	4:40	
第13回	12/7	8:15 ~ 11:40	3:25	12/9	8:00 ~ 12:00	4:00	/		/				
第14回	12/14	8:15 ~ 11:40	3:25	12/16	8:00 ~ 12:00	4:00							
第15回	12/21	8:00 ~ 11:40	3:40										
時間数	学校インターンシップ	計	57:20	学校インターンシップ	計	55:15	学校インターンシップ	計	53:30	学校インターンシップ	計	52:00	
	事前事後指導含む	総計	90:20	事前事後指導含む	総計	88:15	事前事後指導含む	総計	86:30	事前事後指導含む	総計	85:00	
田川市立 B 中学校													
回	日付	開始 ~ 終了	時間	日付	開始 ~ 終了	時間	日付	開始 ~ 終了	時間	日付	開始 ~ 終了	時間	
第1回	9/14	13:30 ~ 16:30	3:00	9/14	13:30 ~ 16:30	3:00	9/14	13:30 ~ 16:30	3:00	9/14	13:30 ~ 16:30	3:00	
第2回	9/21	13:20 ~ 16:50	3:30	9/21	13:20 ~ 16:30	3:10	9/22	13:00 ~ 16:00	3:00	9/22	13:00 ~ 14:00	1:00	
第3回	9/29	13:20 ~ 16:40	3:20	9/26	13:20 ~ 16:30	3:10	9/26	13:00 ~ 16:00	3:00	9/29	13:30 ~ 15:30	2:00	
第4回	10/7	8:20 ~ 12:00	3:40	10/5	13:20 ~ 16:30	3:10	10/5	13:00 ~ 16:00	3:00	10/7	8:10 ~ 11:20	3:10	
第5回	10/12	8:20 ~ 12:00	3:40	10/14	8:40 ~ 11:40	3:00	10/12	13:00 ~ 16:00	3:00	10/12	8:30 ~ 11:40	3:10	
第6回	10/19	8:20 ~ 12:20	4:00	10/21	8:30 ~ 11:40	3:10	10/19	13:00 ~ 16:00	3:00	10/21	8:30 ~ 11:40	3:10	
第7回	10/28	8:20 ~ 12:00	3:40	10/23	8:30 ~ 11:40	3:10	10/26	13:00 ~ 16:00	3:00	10/26	8:30 ~ 11:40	3:10	
第8回	11/4	8:20 ~ 12:00	3:40	11/2	13:20 ~ 16:30	3:10	11/2	13:00 ~ 16:00	3:00	11/4	8:30 ~ 11:40	3:10	
第9回	11/11	8:20 ~ 12:00	3:40	11/7	8:30 ~ 11:40	3:10	11/9	13:00 ~ 16:00	3:00	11/11	8:30 ~ 11:40	3:10	
第10回	11/18	8:20 ~ 13:40	5:20	11/17	13:20 ~ 16:00	2:40	11/16	13:00 ~ 16:00	3:00	11/16	8:30 ~ 11:40	3:10	
第11回	11/25	8:20 ~ 12:00	3:40	11/25	8:30 ~ 11:40	3:10	11/30	13:00 ~ 16:00	3:00	11/25	8:30 ~ 11:40	3:10	
第12回	11/30	8:20 ~ 12:00	3:40	12/7	13:20 ~ 16:00	2:40	12/7	13:00 ~ 16:00	3:00	12/7	13:30 ~ 16:00	2:30	
第13回	12/7	8:20 ~ 12:00	3:40	/		/		/					
第14回	12/14	8:20 ~ 12:50	4:30										
第15回	12/21	6:40 ~ 13:00	6:20										
時間数	学校インターンシップ	計	59:20	学校インターンシップ	計	36:40	学校インターンシップ	計	36:00	学校インターンシップ	計	33:50	
	事前事後指導含む	総計	92:20	事前事後指導含む	総計	69:40	事前事後指導含む	総計	69:00	事前事後指導含む	総計	66:50	

表②-5 学校インターンシップ事前事後指導

事前指導		
回	日付	内容
第1回	4/7	オリエンテーション
第2回	4/14	実習先の配置と日程について
第3回	4/21	事前の準備・調整について
第4回	5/18	学校教育をめぐる事前調査について
第5回	6/15	事前調査 学習指導要領
第6回	6/29	事前調査 GIGAスクール構想ほか
第7回	6/16	オリエンテーション
第8回	7/14	実習先の配置と日程について
第9回	7/21	事前の準備・調整について
第10回	7/28	学校教育をめぐる事前調査について
事後指導		
第11回	1/26	報告とふりかえり
時間数	1:30	計 33:00 時間

・介護等体験

介護等体験は、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、義務教育課程(小学校および中学校)の教員免許状取得者には、7日間以上の介護等体験を行うことが義務づけられた。

介護等体験の実施状況は、表②-6、表②-7の通り。本学では、社会福祉施設(5日間)での介護等体験を2年次に、特別支援学校(2日間)での介護等体験を3年次に実施している。

2022年度は、コロナ感染症の影響により前年度の社会福祉施設での介護等体験が中止となった2名を含め11名、特別支援学校での介護等体験8名が介護等体験を完了した。

なお、社会福祉施設での介護等体験は、福岡県社会福祉協議会が施設と大学の調整を行い、同協議会が指定する社会福祉施設で介護等体験を実施している。特別支援学校での介護等体験は、福岡県教育委員会が調整を行い、指定された特別支援学校で介護等体験を実施している。

表②-6 介護等体験(特別支援学校)一覧

学校名	都道府県	人数	体験期間
福岡県立A特別支援学校	福岡県	3	2022年10月27日～2022年10月28日
福岡県立B特別支援学校	福岡県	5(1)*	2022年11月16日～2022年11月17日

*表中の()内の数字は人間形成学科の学生数を示す。

表②-7 介護等体験(社会福祉施設)一覧

社会福祉施設種別名称	所在地	人数	体験期間
障害者支援施設	田川市	1	2022年8月29日～2022年9月2日
養護老人ホーム	田川市	1	2022年9月5日～2022年9月9日
障害者支援施設	田川市	1	2022年9月12日～2022年9月16日
障害者支援施設	田川市	1	2022年9月12日～2022年9月16日
養護老人ホーム	田川市	1	2022年9月20日～2022年9月26日
障害者支援施設	田川市	1	2022年10月17日～2022年10月21日
障害者福祉サービス業	飯塚市	1	2022年8月29日～2022年9月2日
特別養護老人ホーム	飯塚市	1	2022年9月5日～2022年9月11日
就労継続支援(A型)	北九州市八幡西区	1	2022年8月8日～2022年8月12日
就労継続支援(B型)	北九州市門司区	1	2022年8月29日～2022年9月2日
障害者支援施設	福岡市東区	1	2022年9月26日～2022年9月30日
計		11	

②.2 「複合科目」の開設状況

中高教職課程のうち中学社会と高校公民には、「教科に関する専門的事項」と「教科の指導法」を連携する複合科目を「地域社会分析法A」、「地域社会分析法C」、「国際協力論」、「データ分析の基礎」の4科目開設している。複合科目の履修を通じて実践的な授業構成を学修するカリキュラムを編成しており、教科の専門性に基づいた教員養成を行っている。なお、2022年度生より「データ分析の基礎」は、高校情報免許の教科科目に配置し、中学社会、高校公民の複合科目としては廃止した。

複合科目の履修業況は、表②-8の通りである。

表②-8 複合科目の履修状況

複合科目	地域社会 分析法A	地域社会 分析法C	データ分析 の基礎	国際協力論	教職課程 受講者数
2019年度生	1	2	3	0	5(1)*
2020年度生	2	5	7	2	8(1)*
2021年度生			10	5(3)*	13(3)*
2022年度生			9	2	11(2)*

*表中の()内の数字は人間形成学科の学生数を示す。

②.3 全学横断型プログラム「不登校ひきこもりサポートセンター」との連携

中高教職課程では、学校インターンシップの導入教育として1年次には、「大学が独自に設定科目」として、全学横断型科目の「不登校・ひきこもり援助論」(2単位)、「子供学習支援論」(1単位)を位置づけ、何れかの科目を受講するよう履修指導を行っている。

子どもへの関わり方の基礎を学び、子どもへの支援活動を通じて対人援助や対人スキルを養成している「不登校ひきこもりサポートセンター」と連携して、本学の独自性を生かした教員養成を行っている。

大学独自科目「不登校・ひきこもり援助論」と「子供学習支援論」の履修状況は表②-9の通り。

表②-9 大学独自科目「不登校・ひきこもり援助論」・「子供学習支援論」の履修状況

全学横断型 科目	不登校・ ひきこもり援助論	子供学習支援論	教職課程 受講者数
2019年度生	5(1)*	0	5(1)*
2020年度生	8(1)*	2	8(1)*
2021年度生	11(3)*	10(3)*	13(3)*
2022年度生	10(2)*	4(1)*	11(2)*

*表中の()内の数字は人間形成学科の学生数を示す。

②.4「不登校ひきこもりサポートセンター」・「社会貢献ボランティア支援センター」との連携

本学の教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組として、地域の子どもたちと関わる多くの機会（ボランティア活動、学校インターンシップ活動等）を通じて、“現場”に適応できる力、即戦力の素地を養成している。

これらの取り組みは、「不登校ひきこもりサポートセンター」と「社会貢献ボランティア支援センター」が運営する学習支援などのボランティア活動に学生が参加できるように、情報提供や派遣先の調整を各センターで行っている。

教職課程の学生のボランティア活動への参加状況は、表②-10の通りである。

ボランティア活動は、1、2年次に行う学生が多いが、4年次まで継続して活動している学生も見られる。また、本学の上記の各センターとは別に、公共社会学科を中心に添田町の高校入試を控えた中学3年生を対象に、学力向上を目指すために国語・数学・英語の学習をサポートする「英峰塾」の取り組みを行っている。その他には、「ひとり親家庭のための学習支援」サークルを立ち上げて、主体となってボランティアを实践する学生も見られる。

表②-10 ボランティア活動

不登校・ひきこもりサポートセンター			社会貢献ボランティア支援センター	英峰塾
フリースクール	学校インターンシップ	イベント型ボランティア活動	イベント型ボランティア活動	学習支援ボランティア活動
6(3)*	3(1)*	4(2)*	3	10(2)*

*表中の()内の数字は人間形成学科の学生数を示す。

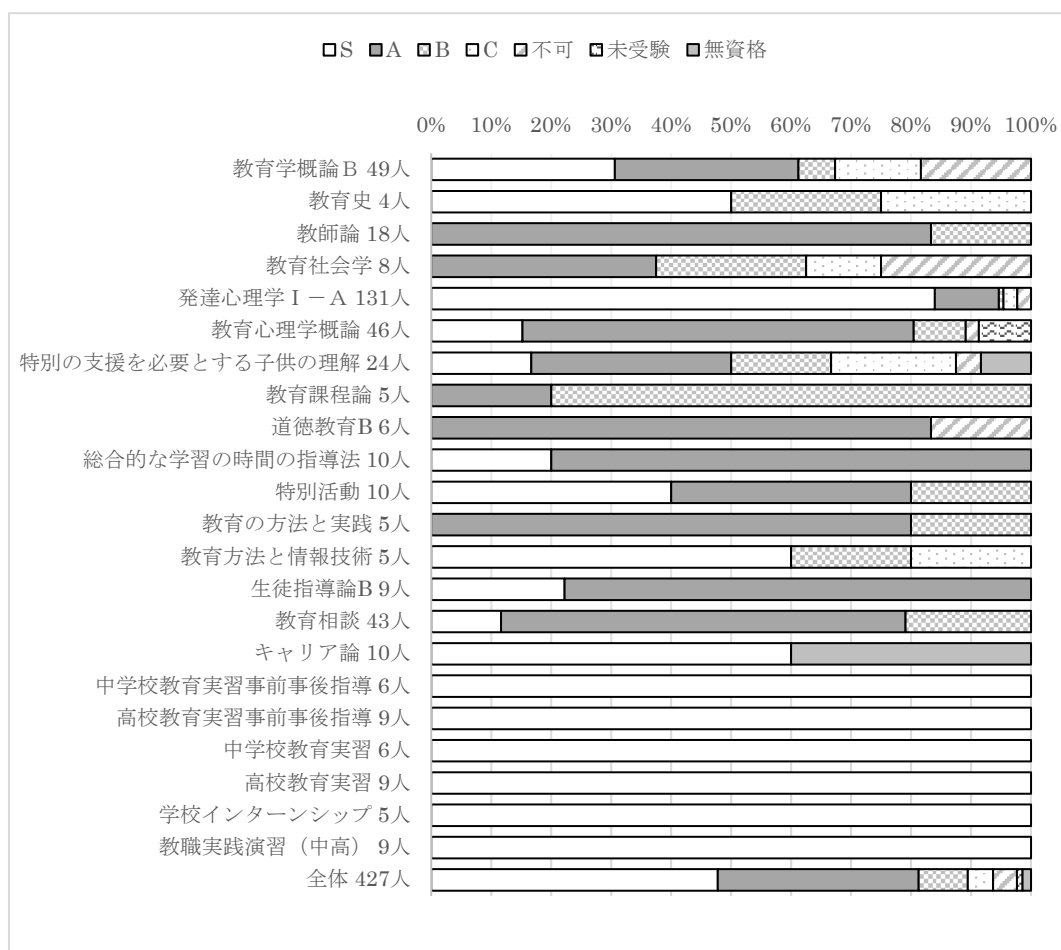
③ 中高教職課程 教学アセスメント状況

教育の基礎的理解に関する科目等に関する R3 年度の成績分布は図③-1の通りである。成績分布について確認したところ、1科目が、履修人数が10人以上かつ成績 S が 2/3 を超えていた。成績評価については、各担当教員に対して、科目の特性や目的および到達目標を鑑み、評価方法について再確認の依頼をする必要があると考えられる。また、不可が多い科目はなかった。

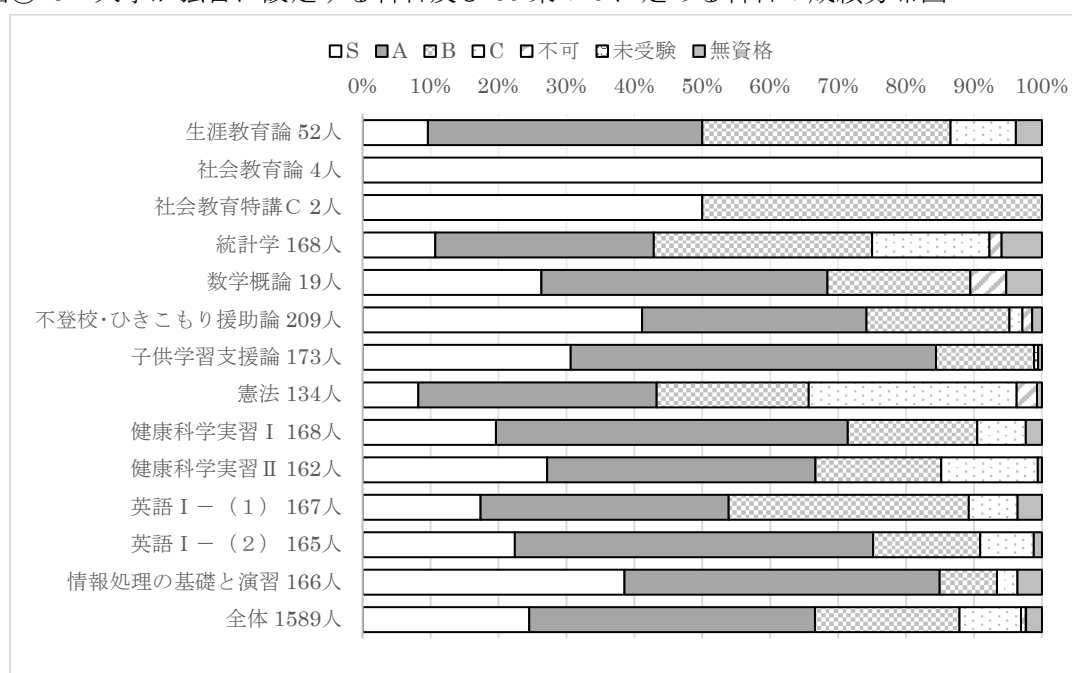
高等学校教諭一種免許状〈公民、情報〉、中学校教諭一種免許状〈情報〉の教科及び教科の指導法に関する科目について、R3年度の成績分布は図③-2の通りである。成績分布について確認したところ問題はないと判断できた。履修人数が10人以上かつ成績 S が 2/3 を超えている科目には3科目が該当した。1科目は、公共社会学科の授業実施評価レポートにおいて、当該年度は他科目との時間割の重複により受講生が例年より少なく、受講意欲が高い学生が集まったため、成績が高い学生が多くなったと考えられ、当該年度のみの一時的な理由であることを確認している。1科目は、社会福祉学科の授業実施評価レポートにおいて、当該科目は退職者の担当科目であったため、次年度以降、新規担当者による成績分布の状況について確認をしていくこととしている。1科目は、基盤教育センターの授業実施評価レポートにおいて、評価方法や成績評価方針について確認をとったところ、2021年度のみ例年と若干異なることであったので、大きな問題はないと判断したことを確認している。また、不可が多い科目はなかった。

大学が独自に設定する科目及び教育職員免許法施行規則第66条の6（以下、66条の6科目）に定める科目の R3 年度の成績分布図は③-3の通りである。両科目群について確認したところ、該当科目の成績分布に問題はないと判断した。

図③-1 教育の基礎的理解に関する科目の成績分布図

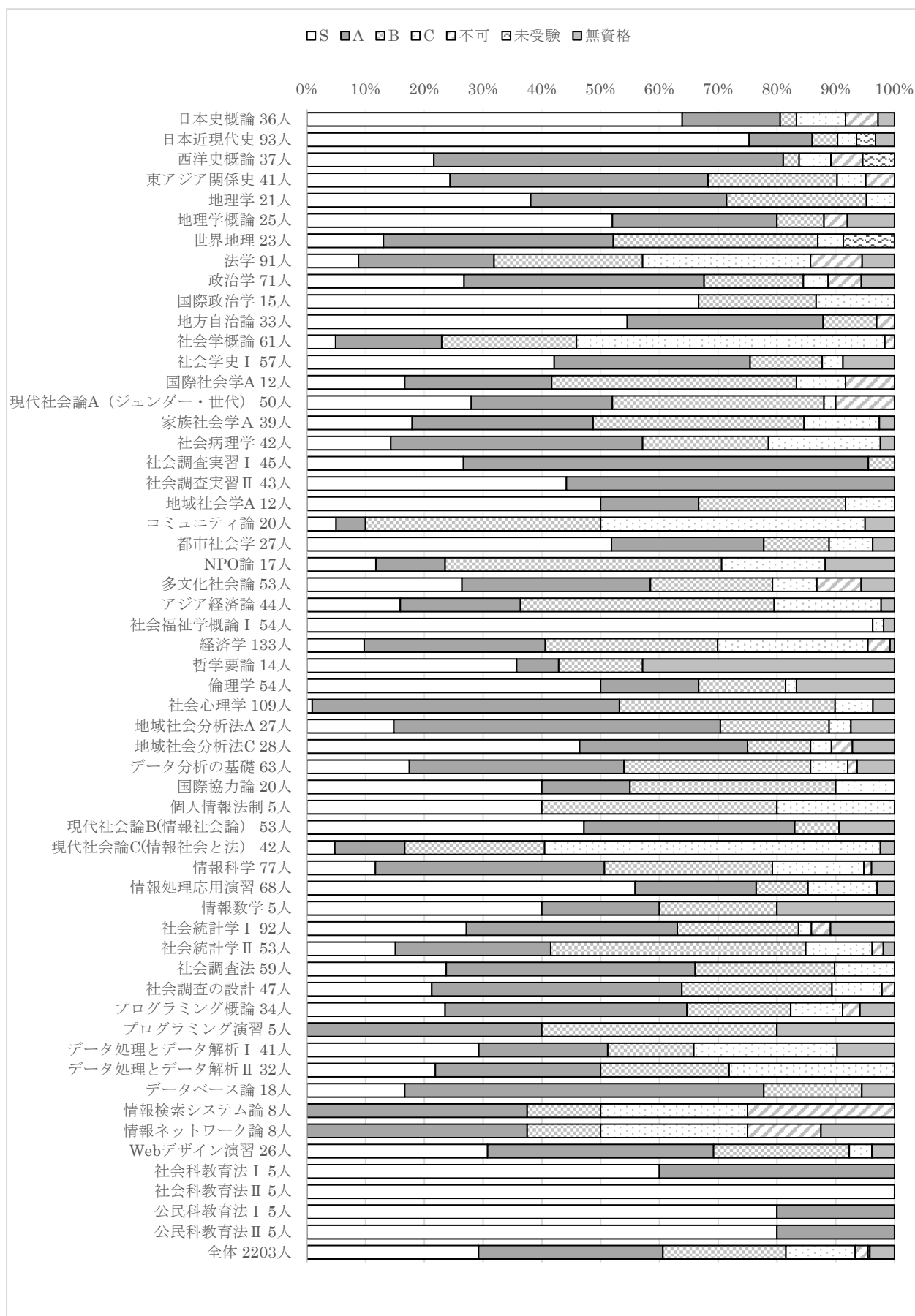


図③-3 大学が独自に設定する科目及び66条の6に定める科目の成績分布図



※大学が独自に設定する科目の内、社会・公民・情報の教科に含まれる科目は、教科に表記しています。

図③-2 教科及び教科の指導法に関する科目の成績分布図



④ 中高教職課程 就職状況

2022年度の教員免許取得者の就職状況は、表④-1の通りである。教員免許取得者5名の内、教職に就くのは1名、教員採用試験の受験者は3名であった。

表④-1 教員免許取得者の就職状況

教職 中学社会	一般企業	進学	教員採用 試験受験者	教員免許 取得者
1(臨時)	3	1(1)*	3	5(1)*

*表中の()内の数字は人間形成学科の学生数を示す。

中高教職課程のキャリア支援について、公共社会学科には「教職免許取得支援プログラム」を設置している。2022年度に実施したプログラムは、「教員採用試験受験体験報告」、「教育実習(研究授業)のオンライン授業視聴」、田川市教育委員会主催「田川市主体的な学びに向かう授業づくり研修会(教育の情報化)」(於：後藤寺小学校)への参加、「人間社会学部長との懇談会」などである。

また、設備面では模擬授業に利用する学生研究室に電子黒板を配置、教科書や教育法規、学習指導要領などの教職関係の書籍を同研究室に配架、学生がいつでも利用できるように環境を整備している。教員採用試験に関する書籍については、本学後援会からの助成を活用して毎年書籍を更新して学生の利用に資するようしている。

⑤ 中高教職課程 特記事項

1. 田川市教育委員会が主催する教員研修会に教職課程履修学生を派遣し、学校教育におけるICT導入の実際を見聞させるなど、教育委員会との連携を実質化できている。
教育実習を次年度に控えた3年次の教職課程履修学生を学校インターンシップに派遣することにより、教職課程と教育委員会との連携によるカリキュラム改善につなげている。
2. 教育実習を次年度に控えた3年次の教職課程履修学生が、教育実習生による査定授業の模様をオンラインで聴講する機会を設けたことにより、教職課程カリキュラムの改善につなげている。

3. 総括

以上、本学に開設されている教職課程について、令和4年度の実施状況を点検してきた。その結果、以下の特記事項、および達成した点、良好・順調な点、次年度以降の課題が総括として指摘できる(各課程の個別事項に該当する場合、文末に課程名を付した)。

・特記事項

- ① 田川市教育委員会が主催する教員研修会に教職課程履修学生を派遣し、学校教育における ICT 導入の実際を見聞させるなど、教育委員会との連携を実質化できている(中高)。
- ② 幼稚園教育実習 I において一部コロナ禍のため、実習期間の変更があったが、適正に対応し問題なく実習を完了できている(幼)。
- ③ 教員採用試験合格者割合(現役合格率)が 33%(9 名中 3 名)にのぼっている(看護)。

・達成した点、良好・順調な点

- ① 教職課程カリキュラムとして、教育実習を次年度に控えた 3 年次の教職課程履修学生を学校インターンシップに派遣するシステムを構築できている(中高)
- ② 教職課程カリキュラムとして、教育実習を次年度に控えた 3 年次の教職課程履修学生が、教育実習生による査定授業の様態をオンラインで聴講する機会を設けている(中高)。
- ③ 入学してくる各学年の学生全員が幼稚園教諭一種免許状の取得を希望している(幼)。

・次年度以降の課題

- ① 教職課程を効果的に運営する観点から、本学における AP、DP、CP について見直しを検討する必要がある。
- ② 教職課程の運営に資することを含み持った、FD・SD 活動の計画立案を検討する必要がある。
- ③ 教育委員会との連携は一定程度、浸透するとともに効果を挙げているが、教職課程カリキュラムの改善に際し、教育委員会の意見をさらに聴取するための枠組みを検討する必要がある。
- ④ 「教育の基礎的理解に関する科目等(幼稚園教諭一種免許状)」の内、2 科目において、シラバスとの相違、評価基準に関する自由記述があった。担当教員に、シラバスで示したとおりの授業内容、評価を担保することを依頼し、改善に向けて取り組んでいる(幼)。